

<日本史探究④⑨> 安土・桃山時代② ~桃山文化~ 教科書: P.146~P.149

① 桃山文化の特徴と建築

① 信長・秀吉政権の頃の文化を(1.桃山)文化といい、16c後半の文化である。その特色は、信長・秀吉に代表される新興武家と戦争や貿易で大きな富を得た(2.豪商)の気風を反映した(3.豪華さや壮大さ)にある。

② また室町文化に比べると(4.仏教)色が薄れ、現世的・人間的な色彩が強まった。さらに、ヨーロッパとの接触による異国文化の影響もある。

③ 建築では、中世以来、軍事拠点として自然の險しさを利用した(5.山城)であったが、領国経営のための政治的要請で、高い丘に築く(6.平山城)から平地に築く(7.平城)へ移っていた。

④ 城主の居館・政庁となった城の中心には(8.天守(閣))と呼ばれる高樓建築のほか、大広間をもつ書院造の御殿が造られ、二の丸・三の丸などの郭や櫓を配した(9.城郭)建築が桃山文化の象徴となった。



⑤ 代表的な6・7

6: (10.安土城)(滋賀)・(11.姫路城)(兵庫)・犬山城

7: 駿府城(静岡)・米沢城(山形)・松本城(長野)

※当時の現存する9に、(12.姫路城)・犬山城・彦根城

② 桃山文化の美術と生活

① 城や寺院の壁や襖に描かれた(13.障壁画)は、桃山文化の代表的な絵画で、大名の権威・威力を示すものとして重宝された。そこには、水墨画の技法や、金箔を貼った上に青や緑の濃い絵の具で描く(14.濃絵)の技法が用いられた。

② 14の13の代表的作品に、信長と秀吉に仕えた(15.狩野永徳)の『16.唐獅子図屏風』や(17.長谷川等伯)と子の長谷川久蔵による『18.智積院襖絵』、15の弟子(19.狩野山楽)の『20.牡丹図』などがある。

③ 水墨画の13の代表的作品に、17の『21.松林図屏風』や、19の『22.松鷹図』、海北派の始祖(23.海北友松)の『24.山水図屏風』などがある。

④ また、都市の庶民生活や祭礼を描いた(24.風俗画)では、京都内外の生活を描いた15の『25.洛中洛外図屏風』や、来航した南蛮船とその船員、宣教師などを描いた『26.南蛮屏風』も登場した。 ※25は、1574年、信長が(27.上杉謙信)に贈ったもの

⑤ 生活の面では、衣服は(28.小袖)が一般化し、男性はそれに袴をはき、正装の際には肩衣を着けた。食事は1日2食から3食へと変化し、都市の住居は瓦屋根の2階建てのものが多くなった。

③ 桃山文化の芸能

① 京都や堺などの富裕な町衆や武将たちの間では、後に茶道と呼ばれる(1. 茶の湯)が流行した。その1の中で、質素で閑寂な趣を味わう(2. 侘茶)は東山文化で、(3. 村田珠光)が創始し、戦国期の文化で(4. 武野紹鷗)が受け継ぎ、この桃山文化で(5. 千利休)が大成した。

↑第47講参照

② 5は、信長・秀吉に仕えた堺の商人で、同じく信長・秀吉に仕えた堺の豪商であった(6. 今井宗茂)・(7. 津田宗茂)と共に三宗匠と称された。この3人は、1587年、秀吉が京都北野神社で開催した(8. 北野犬茶湯)でも中心的な役割を担った。また5は、(9. 妙喜庵待庵)と呼ばれる2畳の茶室を造作した。

③ 能も秀吉が愛好して保護し、狂言とともに武家の儀式で用いられる公式の芸能となった。一方で、庶民の娯楽としては、都市では風流踊りが盛んだったが、1603年に京都では(10. 出雲阿国)が男装して舞い踊る(11. かぶき踊り)[11. 阿国歌舞伎]が評判となった。

／ 1629年に禁止

④ 11はやがて(12. 女歌舞伎)、元服前の少年が演じる(13. 若衆歌舞伎)に発展したが、共に江戸幕府により禁止された。

／ 1652年に禁止

また、堺の高三隆達(たかさんりゅうたつ)が歌う(14. 隆達節)も流行し、(15. 琉球)から伝わった(16. 三味線)の伴奏に操り人形を動かす(17. 人形浄瑠璃)も流行した。

④ 国際的な文化の交流

① 宣教師ら「南蛮人」(なんばんじん)によって天文学や医学・地理学、油絵や銅版画、(18. パン・カステラ・カルタ)などのポルトガル語、(19. たばこ)などの生活文化がもたらされた。

第48講回

② この(20. 南蛮)文化において、宣教師(21. ヴァリニャーノ)がもたらした(22. 活字印刷機)により、『23. 天草版平家物語』や『24. 天草版伊曾保物語』がローマ字で印刷された。それらは(25. キリタン版)と呼ばれる。

③ (26. 慶長版本/勅版)は、文禄の役の際、朝鮮から伝えられた印刷法と木活字を用いて、後陽成天皇の勅命で出版された最初の活字本である。

<入試問題でアウトプット!>

(メモ)

(問1) 次の文の正誤を判定しよう。(関西学院大)

(1) 狩野派では永徳が現れて大和絵と水墨画を融合させた新しい装飾画を描き、門人で『唐獅子図屏風』の作者である長谷川等伯とともに豪華な障壁画を残した。

[誤]

(2) 17c後半に出雲阿国がかぶき踊りを始めたが、それは女歌舞伎に継承され、やがて若衆歌舞伎を経て野郎歌舞伎につながった。

[誤]

(3) 千利休は村田珠光に師事して侘茶を学び、茶の湯の儀礼を定めて茶道を確立した。

[誤]

(4) 16cの城郭や寺院の襖や壁には、豪華な絵画が描かれた。狩野永徳・山楽は、この時代の代表的な画家である。

[正]

(問2) 日本にヨーロッパの活字印刷機を伝えたとされ、ローマ教皇への少年使節の派遣を九州のキリシタン大名に勧めた宣教師は誰か?(津田塾大)

(ヴァリニャーニ)